

2016年3月10日

『このミステリーがすごい!』大賞 優秀賞

有栖川有栖氏も推薦

このルーキーは
見惚れるような球を投げる

野球ミステリー『たまらなくグッドバイ』3/11 発売

著者 本格ミステリー作家

3/27 ロフトプラスワンウエスト(大阪)で大津氏&有栖川氏のトークショーも決定!

株式会社宝島社(代表取締役社長:蓮見清一 本社:東京都千代田区)は、第14回『このミステリーがすごい!』大賞 優秀賞を受賞した野球ミステリー、『たまらなくグッドバイ』(大津光央)を2016年3月11日に発売します。

『このミステリーがすごい!』大賞は、ミステリー&エンターテインメント作家の発掘・育成を目指す新人賞で、これまでも直木賞受賞作家の東山彰良氏や、累計1000万部突破の「チーム・バチスタ」シリーズの海堂尊氏などの作家を輩出してきました。また『一千兆円の身代金』(フジテレビドラマ化)、『さよならドビュシー』(2013年映画化・日本テレビドラマ化)、『果てしなき渴き』(2014年映画化)など、受賞作は多数映像化されています。受賞作家の取材も可能です。本もお送りしますので、お気軽にお問い合わせいただけますと幸いです。

「ミステリーを読み慣れた読者といえども、
物語の結構を見破り、球を芯で捉えることは容易ではなからう。
実に考え抜かれた、見事な配球の野球ミステリーだ」(茶木則雄)

【あらすじ】

28年前、八百長疑惑をかけられてみずから命を絶った伝説の下手投げ投手K・M。四半世紀後、行方不明になっていた1500奪三振の記念ボールが発見されたのをきっかけに、彼を再評価する動きが起こる。作家の芹澤真一郎は、K・Mの伝記を書くべく関係者たちのもとを取材して回るが、彼にまつわるエピソードにはいくつもの謎があった。誤審に抗議した相手チームの監督はなぜ急に引き下がったのか。発見された記念ボールは本物なのか。そして、八百長疑惑の真相は?

『たまらなくグッドバイ』

発売日:2016年3月11日
定価:本体1480円+税

取材も可能です!

3/27(日)、出版記念対談のイベントも決定!

「そうだ!有栖川有栖先生に聞いてみよう!」

本作でデビューする大津光央が、本格ミステリー作家で恩師でもある有栖川有栖先生に色々とお話を伺う、対談イベントです!ミュージシャンとしても活動する著者のライブも予定!

日時:3月27日(日) 開場12時 開演13時

会場:ロフトプラスワンウエスト(大阪府中央区宗右衛門町2-3美松ビル3F)

チケット:前売り2,500円、当日2,800円(共に飲食代別)

【著者・大津光央 プロフィール】

大阪府出身、在住。京都産業大学外国語学部ドイツ語学科卒業。元馬場馬術のインカレ選手。第14回『このミステリーがすごい!』大賞優秀賞を受賞。2016年3月に優秀賞受賞作『たまらなくグッドバイ』を発売し作家デビュー。ミュージシャンとしても活動しており、2014年10月、所属バンドのマロニエ堂のアルバム「センチメンタルがやってくる」を全国発売。

